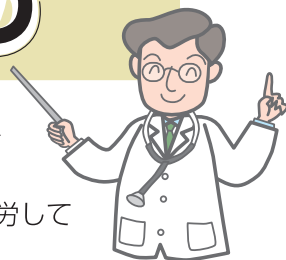


高齢者の方へ ワクチンのすすめ



予防接種というと小さい子どもがするものと思っている方が多数おられます。しかし、年齢に応じて接種が勧められているワクチンがあり、ワクチンで予防できる病気はワクチンを受けて予防しておきたいものです。最近の話題では、中学校1年生世代と高校3年生世代の麻疹風疹混合ワクチン(MR)ワクチン接種です。該当する人たちは、平成21年3月いっぱいまでは無料ですが、4月に入ると有料(三重病院では9,400円)で受けなければなりません。

▶さて、高齢者の場合はどうでしょう？

今、日本では高齢者に3種類のワクチン接種が勧められています。一番目はインフルエンザワクチンです。高齢者がインフルエンザにかかると肺炎を合併して入院、時には死亡することがあります。高齢者のインフルエンザワクチンの効き目は、発症の予防に対しては50%と低いですが、入院せずにすむことに対しては70%有効ですし、インフルエンザによる死亡を防ぐことに対しては、90%と高い有効率が認められています。毎年の流行前には受けておきたいワクチンです。65歳以上の方へのインフルエンザワクチン接種は二類定期接種に含まれていますので、市からワクチン代の助成があります。

▶二番目に接種が勧められているのが、肺炎球菌ワクチンです。肺炎球菌は、子どもの肺炎や中耳炎の原因になる細菌ですが、高齢者にも肺炎を起こす原因として大きな比率を占めています。現在、抗生剤が効き

にくい肺炎球菌が増加しており、子どもや高齢者の方が肺炎球菌による肺炎を起こすと治療に苦勞しています。

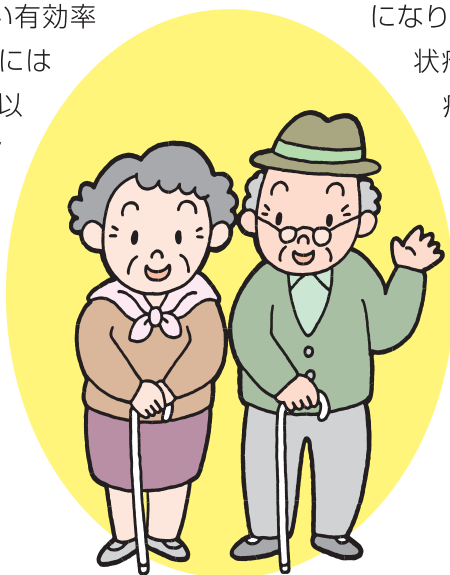
人に感染する肺炎球菌は、100種類以上ありますが、高齢者に肺炎を起こす頻度の高い23種類の肺炎球菌莢膜ポリサッカライド(多糖類)を利用して製造されたのが成人用の23価肺炎球菌ワクチンです。65歳を越えると接種が勧められています。最近米国では、5年毎に接種を受けるよう接種システムが変更されました。亀山市在住の方は、市から助成金が出ています。

▶三番目に接種が勧められているワクチンは、帯状疱疹予防のための水痘ワクチンです。水痘と帯状疱疹を起こすウイルスは同じウイルスで、水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)と呼ばれています。初めて水痘にかかると、VZVは脊髄神経節に潜伏して治ります。60歳を越えるとおとなしく潜伏していたVZVが元気

になり、帯状疱疹を発症します。高齢者が帯状疱疹を発症すると、その後耐えがたい痛みが時に数年続く方がおられます。

この帯状疱疹発症予防に水痘ワクチンが有効です。このワクチンは任意接種のため助成金は得られませんが、帯状疱疹後疼痛の負担を考えると受けておきたいワクチンです。

▶インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、水痘ワクチン、これらすべて三重病院で受けられます。関心のある方は、外来スタッフに声をかけてください。(院長 庵原俊昭)



募集しています

① 看護師

▶お気軽に 三重病院看護部長室 今井可奈子 までご連絡ください

看護師の仕事をやめてからしばらく経つので心配…と思ってみえる方、大丈夫です。看護技術が不安な方には、トレーニングをしていただく準備もできております。赤ちゃんからお年寄り、身体の不自由な方、どなたにもやさしい三重病院です。私たちといっしょに看護を試してみませんか?相談・見学随時お受けいたします。

② 薬剤師

非常勤の薬剤師業務

③ 保育士

臨時任用職員

▶②③のお問い合わせは 三重病院 管理課 北山までご連絡ください